

地方創生交付金を活用した事業の報告及び評価 (令和5年度まで実施事業)

| No | ①<br>交付対象事業の名称                            | ②<br>事業概要   | ③<br>総事業費<br>(内、交付金額)      | ④<br>本事業における重要業績評価指標 (KPI) |  |         |     | ⑤<br>令和5年度終了時の実績値 |     |         |         |         |         |         |         | ⑥<br>実績を踏まえた事業の今後について |   |        | ⑦<br>外部有識者からの評価・意見<br>(事業の方向性、KPI等)  |                 |   |     |
|----|---|---|----------------------------|----------------------------|--|---------|-----|-------------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------------------|---|--------|--|-----------------|---|-----|
|    |   |   |                            | 指標                         |  | 目標値     | 単位  | 目標年月              | 種別  | R2年度    | R3年度    | R4年度    | R5年度    | R6年度    | R7年度    | 事業効果                  | 事業効果の理由   | 今後の方向性 | 今後の方向性の理由  |                 | 事業評価  | 意見  |
|    |   |   |                            | 指標①                        | 指標②  | 指標③     | 指標④ | 指標⑤               | 指標⑥ | 指標⑦     | 指標⑧     | 指標⑨     | 指標⑩     | 指標⑪     | 指標⑫     | 指標⑬                   | 指標⑭   | 指標⑮    | 指標⑯  | 指標⑰             | 指標⑱   | 指標⑲ |
| 1  | 丸岡バスターミナル周辺整備事業<br>地方創生拠点整備交付金            | 丸岡バスターミナルについて、交流スペース及び賑わい広場を整備することにより人が滞留できる拠点をつくとともに交流スペース内の店舗誘致、賑わい広場での産直販売などを実施することでまちの活性化を図る。またこの施設を丸岡城までのまち歩き拠点とすることで、丸岡城への導線周辺にある空き家・空き店舗の利活用を促し、観光客に対する魅力向上及び賑わい創出を図る。 | 413,640<br>(117,335)<br>R1 | 指標①                        | 交流施設来館者数                                     | 67,800  | 人   | R6.3              | 目標値 | 51,000  | 56,100  | 61,700  | 67,800  | -       | -       | 地方創生に効果があった           | 指定管理者主催のイベントだけでなく他団体によるイベントの開催や、フォトスポットやイルミネーション等の整備、また定期的な施設の利用を行った。来館者数の目標値については悪天候によりやむをえず中止したイベントもあり客足が伸びなかったため今年度の目標値を達成できなかった。しかし、賑わいづくりや交流拠点としての役割は十分に果たしていると考ええる。 | 事業の継続  | これまで同様、市民のニーズにあったイベントの開催や展示スペース等の施設を有効活用し、交流拠点として定着するよう市民が集う仕掛けを行い、今後もさらなる交流やまち歩きの拠点となるよう努めたい。       | 地方創生に効果があった     | イベント等の実施により地域住民の交流施設としての役割は果たされている一方で、丸岡城へと結ぶ拠点としての役割は不足していると感じられる。空き店舗等の改修の促進や市民協働での導線作りに期待したい。  |     |
|    |   |   |                            | 指標②                        | 賑わい広場イベント開催数                                 | 40      | 回   | R6.3              | 目標値 | 12      | 18      | 27      | 40      | -       | -       |                       |   |        |  |                 |   |     |
|    |   |   |                            | 指標③                        | 賑わい広場出店料                                     | 194     | 万円  | R6.3              | 目標値 | 24      | 60      | 114     | 194     | -       | -       |                       |   |        |  |                 |   |     |
| 2  | 農産物の情報発信ターミナル「いねす」整備事業<br>地方創生拠点整備交付金     | 坂井地域交流センター「いねす」を改修することで、市全域の農業生産物を扱う商業活動の場を整えるとともに、ホール等を活用した市民の交流を促進し、周辺エリアの商業的価値を向上させることを目的とする。  | 385,632<br>(183,254)<br>R1 | 指標①                        | 年間売上額（農産物直売所、施設利用料等）                         | 157,646 | 千円  | R6.3              | 目標値 | 137,396 | 144,146 | 150,896 | 157,646 | -       | -       | 地方創生に効果があった           | 季節ごとに変わる出荷農産物の品目に対応するために、陳列や仕入れを工夫しており、昨年度の売り上げを下回ったものの、目標値を大幅に上回っており、農家所得の向上にも好影響をもたらしていると考えられる。また、施設利用者数は令和4年度と比べれば減少しているものの、売上高は高い水準を維持できていることから、事業効果があると判断される。        | 事業の継続  | 農産物直売所の年間売上額については、今後も創意工夫を凝らすことで、さらなる効果が期待できると考えられる。今後も計画的に事業を遂行し地域農業の振興を推進する。                       | 地方創生に効果があった     | 施設の利用としてコミュニティセンターや、他の農産物直売所との差別化を図っていくためにも、体験教室を積極的に開催していくほか、坂井高校生との協働で盛り上げてほしい。キャッシュレス決済の促進も売上高の向上に繋がるのではないかな。  |     |
|    |   |   |                            | 指標②                        | 施設利用者数（農産物直売所、交流ホール等）                        | 170,035 | 人   | R6.3              | 目標値 | 154,285 | 159,535 | 164,785 | 170,035 | -       | -       |                       |   |        |  |                 |   |     |
|    |   |   |                            | 指標③                        | イベント開催数（自主事業、市又はまちづくり協議会主催等）                 | 6       | 回   | R6.3              | 目標値 | 2       | 4       | 5       | 6       | -       | -       |                       |   |        |  |                 |   |     |
| 3  | 里山で資源を生かした人を育む拠点整備事業<br>地方創生拠点整備交付金       | 丸岡温泉たけくらべについて、客室等の改修や多目的ホールの共有スペース化により、宿泊施設としてだけでなく地域交流の場としての利用等を含め、竹田地区全体への訪問者、宿泊者、滞在時間を増やし賑わいを創出する。   | 350,440<br>(147,950)<br>R3 | 指標①                        | 年間日帰り施設利用者数                                  | 19,000  | 人   | R8.3              | 目標値 | -       | -       | 17,000  | 18,000  | 18,800  | 19,000  | 地方創生に相当程度効果があった       | 竹田地区来訪者の多くに宿泊される施設となった。周辺の観光施設等と連携し、地区全体での観光客数増加に寄与した。  | 事業の継続  | 竹田地区の磨き上げを図る拠点として、さらに多くの観光客に利用され、間伐材を利用した温泉として学生等の学びを支える施設となるよう事業を継続していく。地区全体で発展していくため、施設同士の連携強化を図る。 | 地方創生に効果があった     | 日帰り利用客を増やすために、登山客をターゲットとした誘客の取り組みや、宿泊客を増やすために、しだれ桜祭りに合わせたプランの造成や年間を通じた誘客の取り組みに期待したい。  |     |
|    |   |   |                            | 指標②                        | 年間宿泊者数                                       | 7,000   | 人   | R8.3              | 目標値 | -       | -       | 6,000   | 6,500   | 6,900   | 7,000   |                       |   |        |  |                 |   |     |
|    |   |   |                            | 指標③                        | 年間竹田地区来訪者数                                   | 243,000 | 人   | R8.3              | 目標値 | -       | -       | 226,500 | 232,500 | 238,000 | 243,000 |                       |   |        |  |                 |   |     |
| 4  | 水がつなげる山・里・町・海の歴史文化発信拠点整備事業<br>地方創生拠点整備交付金 | みくに龍翔館について、既存の常設展示を坂井市の歴史文化をより分かりやすく紹介するものに一新し、また特別展示室も整備し国指定文化財も展示可能とする。シビックプライドの醸成に努めるとともに、地域の歴史・文化遺産の情報発信や保存活用を行う人材育成を図る。  | 793,870<br>(173,563)<br>R3 | 指標①                        | 来館者数（館外活動参加者等を含む）                            | 30,000  | 人   | R8.3              | 目標値 | -       | -       | -       | 20,000  | 25,000  | 30,000  | 地方創生に相当程度効果があった       | 坂井市全域を対象にした分かりやすい展示や、来館者用エレベーター、「こどものへや」などの新設により、幅広い層の人々が楽しく利用しやすい施設となり、来館者が増加した。さらに、新設した「交流・学習室」を活用することで、学校団体の利用増や、教育普及のためのワークショップおよび各種イベントの充実化がはかられ、事業の効果が高まった。         | 事業の継続  | 今後とも、魅力的な展示および教育普及事業を展開し、坂井市全域を対象にした歴史や文化を楽しく分かりやすく発信し、市の歴史や文化財の保存・活用の拠点となる博物館施設としての役割を果たしていきたい。     | 地方創生に相当程度効果があった | 告知手段をより広く検討し、魅力あるイベントにより多くの人に参加してもらえるようにすると良い。集客イベントは博物館としての機能にふさわしい内容で、これまで来たことのない人に足を運んでももらえるようにしてほしい。体験イベントの年齢制限は保護者同伴を条件として広く見てもらえると、家族でより楽しめる施設になるのではないかな。 |     |
|    |   |   |                            | 指標②                        | 年間の学習利用校数                                    | 24      | 校   | R8.3              | 目標値 | -       | -       | -       | 15      | 19      | 24      |                       |   |        |  |                 |   |     |
|    |   |   |                            | 指標③                        | 館が主催・協同する内外での年間事業数（企画展・特別展、講演会、イベント、学習活動支援等） | 15      | 回   | R8.3              | 目標値 | -       | -       | -       | 11      | 13      | 15      |                       |   |        |  |                 |   |     |

凡例：事業効果

- 地方創生に非常に効果的であった 例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
- 地方創生に相当程度効果があった 例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
- 地方創生に効果があった 例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
- 地方創生に効果がなかった 例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合
- 事業の継続 例：計画通りに事業を継続する
- 事業の発展 例：事業が効果的であったことから取組みの追加等さらに発展させる
- 事業の改善 例：事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または行った）
- 事業の終了 例：当初の予定通り事業を終了する

地方創生交付金を活用した事業の報告及び評価（令和5年度まで実施事業）

| No | ①<br>交付対象事業の名称                                | ②<br>事業概要   | ③<br>総事業費<br>(内、交付金額)                  | ④<br>本事業における重要業績評価指標（KPI） |                      |     |    | ⑤<br>令和5年度終了時の実績値 |     |      |      |      |                 | ⑥<br>実績を踏まえた事業の今後について  |        | ⑦<br>外部有識者からの評価・意見<br>(事業の方向性、KPI等)  |                 |  |                 |       |  |                 |  |
|----|---|---|--|---------------------------|----------------------|-----|----|-------------------|-----|------|------|------|-----------------|--|--------|--|-----------------|--|-----------------|-------|--|-----------------|--|
|    |   |   |  | 指標                        |                      | 目標値 | 単位 | 目標年月              | 種別  | R4年度 | R5年度 | R6年度 | 事業効果            | 事業効果の理由  | 今後の方向性 | 今後の方向性の理由  | 事業評価            | 意見   |                 |       |  |                 |  |
|    |   |   |  | 指標①                       | 地域外からの入学生徒数          | 11  | 人  | R7.3              | 目標値 | 9    | 10   | 11   | 地方創生に非常に効果的であった | 探究活動などを通じて地元の住民と触れ合い、地域の歴史や文化を学ぶことでシビックプライドの醸成に一定の効果があった。<br>高校の魅力向上が図られ、地域外からの入学者数目標を達成できた。また、卒業後も地元や高校とつながり続ける効果も見られた。 | 事業の継続  | 探究活動を中心に積極的に地域と関わる機会を作り、地域への愛着と理解を深める。また、地域外へも高校の活動や魅力を広報して、入学者または関心を持つ人を増やしていく。 | 地方創生に非常に効果的であった | 先生と生徒が積極的に地域に関わる活動を進められている。一方で高校生に対する地域のニーズが大きく対応が困難になっているようにも感じられるため、学業に影響のない形でこれからの活動に期待したい。 |                 |       |  |                 |  |
| 1  | 高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト<br><br>地方創生推進交付金 | 目まぐるしく変化する社会情勢を生き延びてゆくこれからの子どもたちには、自分たちの力で未来を切り拓いていこうとする強い意志が求められている。人口減少、過疎化、高齢化といった課題が日常にあふれる地方という先進地で、立場や世代を超えた多様な人々と過ごすことで、地域と高校の協働による魅力ある教育環境づくりに取り組む。 | 7,800<br>(3,900)<br><br>R4～R6<br>(見込み) | 指標②                       | 卒業後も地元に関わった大学生・社会人の数 | 13  | 人  | R7.3              | 目標値 | 9    | 11   | 13   |                 |  |        |  |                 |  | 地方創生に非常に効果的であった | 事業の継続 | 探究活動を中心に積極的に地域と関わる機会を作り、地域への愛着と理解を深める。また、地域外へも高校の活動や魅力を広報して、入学者または関心を持つ人を増やしていく。 | 地方創生に非常に効果的であった | 先生と生徒が積極的に地域に関わる活動を進められている。一方で高校生に対する地域のニーズが大きく対応が困難になっているようにも感じられるため、学業に影響のない形でこれからの活動に期待したい。 |
|    |   |   |  | 指標③                       | 地域外からの高校への応援者数       | 11  | 人  | R7.3              | 目標値 | 9    | 10   | 11   |                 |  |        |  |                 |  |                 |       |  |                 |  |
|    |   |   |  |                           |                      |     |    |                   | 実績値 | 9    | 22   |      |                 |  |        |  |                 |  |                 |       |  |                 |  |
|    |   |   |  |                           |                      |     |    |                   | 実績値 | 13   | 11   |      |                 |  |        |  |                 |  |                 |       |  |                 |  |
|    |   |   |  |                           |                      |     |    |                   | 実績値 | 9    | 10   |      |                 |  |        |  |                 |  |                 |       |  |                 |  |
|    |   |   |  |                           |                      |     |    |                   | 実績値 | 9    | 10   |      |                 |  |        |  |                 |  |                 |       |  |                 |  |

凡例：事業効果

- 地方創生に非常に効果的であった 例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
- 地方創生に相当程度効果があった 例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
- 地方創生に効果があった 例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
- 地方創生に効果がなかった 例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
- 事業の継続 例：計画通りに事業を継続する
- 事業の発展 例：事業が効果的であったことから取り組みの追加等さらに発展させる
- 事業の改善 例：事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または行った）
- 事業の終了 例：当初の予定通り事業を終了する